



深谷市親善大使・講師

神田あおいさん

講談で伝える 深谷の歴史と文化

現在の東京成徳大学深谷高等学校の卒業生で、講師として活躍する神田あおいさんが、7月3日に深谷市親善大使に就任しました。

もともと芝居の道を目指していたあおいさん。演出の先生から「セリフ力を伸ばすために、講談を習いなさい。」と勧められたことが講談との出会いでした。「最初は『続かない』と思っていましたが、修行に励むうちに、気が付くと真打（最高位の階級）になっていました。」と笑顔で語ります。

あおいさんは、古典講談から新作まで幅広いレパートリーを持ち、特に渋沢栄一翁を題材とした講談は「1万円札の肖像発表のずっと前、約20年前に作りました。」と話し、いち早く栄一翁の魅力に着目していました。高校時代に深谷駅前で見た栄一翁の銅像が強く印象に残っていたといい、



▲7月3日に行われた『深谷市民の日記念 渋沢栄一講談会』で栄一翁の日米親善の功績を題材にした『青い目の人形と答礼人形』を披露する神田あおいさん

「栄一翁は、あの時代に生まれながら、新しいものを受け入れる器や先見の明がある、素晴らしいかたです。」と、講談制作のきっかけを振り返ります。講談の魅力について「体一つで表現する芸で、史実を基に想像力を膨らませて作る新作は、自分でゼロから作り上げます。」と話します。日本史好きの母親の影響で人物を掘り下げることが得意で、表現することが好きなあおいさんにとって、講談はまさに天職です。

今後は「深谷は栄一翁だけでなく、畠山重忠公もいますし、深谷にまつわる講談を考えていきたいです。」と話し、これからも伝統話芸を通じて深谷を全国に発信していきます。7月3日に咲いたアオイの花は、深谷への情熱を蓄え、鮮やかに咲き続けるでしょう。

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか散歩

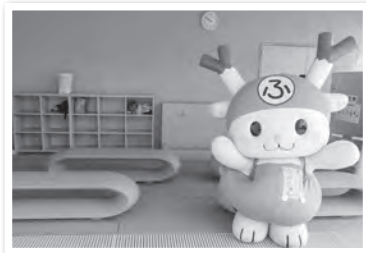
156こどもふっかパークのアビルバ



みんな、夏休みの宿題は進んでいるかなあ?ふっかちゃんは、深谷の夏にぴったりの新スポットに遊びに行ってきたんだあ。どこかという、こどもふっかパークの2階テラスにある水遊びスペース『アビルバ(スプラッシュテラス)』だよ!



▲館内からも、アビルバからも出入りできる更衣室『きがえのへや』があるんだあ。更衣室の中は4つの『きがえの個室』があって、安心してお着替えができるよあ。



▲噴水から舞う水しぶきを感じながら、日陰の見守りスペースで一休みしたよあ。みんなも水分補給をしっかりと、熱中症に気を付けてねえ。

ふっかちゃんの
つ・ぶ・や・き

こどもふっかパークは、8月は平日も入場予約が必要だから、詳しくはふかパー公式の『利用案内』をチェックしてねえY(0≧ω≦0)Y



ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市櫛引24-2(花植木流通センター隣)]☎551-5551



深谷アダプトプログラム団体紹介

アダプトプログラムとは?

市民・学校・事業者の皆さんが里親となり、公園や道路、緑地などの公共空間の緑化・美化・清掃活動を行うことに対して、市が支援する制度です。

団体名『旧日本煉瓦上敷免工場西道路側面環境整備』

活動場所 備前渠用水路～旧小山川の間(175m)

活動日 4月～11月

参加人数 10人

活動内容 郷土の偉人渋沢栄一翁が、地元創業した日本煉瓦製造株式会社上敷免工場西側の道路側面を、春から秋まで草刈りをして環境を整備しています。8月下旬から9月末にかけて、球根約1,500個の彼岸花が一斉に真っ赤な花を咲かせて、遊歩道を散歩する人の目を楽しませます。



▲活動場所の様子

『どじょうのつかみどり体験』参加者募集

ふかや緑の王国内の『ふかや村』の小川でどじょうをつかまえよう!

対象 中学生以下(保護者同伴)

※市内在住・在勤(保護者)・在学のかたに限る

とき 9月5日(土)①午前10時～、②午前11時～

ところ ふかや緑の王国

定員 各回20人(抽選) 参加料 500円

申し込み 8月19日(水)午前9時から24日(月)午後5時までに市公式LINEで『子育て・健康』→『公民館などの教室・講座の申込予約』から選択して必要事項を入力(1回で2人まで申し込み可)

※市公式LINEから申し込みができないかたは電話で申し込みも可



▲市公式LINE



▲昨年の体験の様子

男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや
図人権政策課(☎574-6643)

『アンコンシャス・バイアス』という言葉を知っていますか?

『アンコンシャス・バイアス』とは、自分自身では気づいていない『無意識の思い込み・偏見』のことをいいます。

例えば、『男性は仕事、女性は家庭』という固定的な性別役割分担意識を持っていない場合でも、『親が単身赴任中』と聞いて父親を想像したり、『仕事と家庭の両立』と聞いて女性が担うものと考えてしまうなど、その人の過去の経験や知識などにより、男女の性別の違いに関し、無意識に何気ない発言や行動として現れることです。

アンコンシャス・バイアスがきっかけとなり、無意識のうちに、相手を傷つけたり、苦しめたりしていることがあります。

そのため、一人ひとりが『アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)』に気づき、自分自身の思い込みや決めつけがないか、自己認識することが重要です。

